



シニア向け入学案内

おとなパンフ JB

思い起こせば、中学・高校くらいの時期は勉強させられた時代だった。授業を受けていてもいつのまにか眠くなり、期末テストは一夜漬けでやり過ごした。勉強は遊びと相反するものだったが、今、放送大学で「学ぶことが楽しい」という大人たちに出会う。人生経験豊かなJBたちは、なぜ今も学び続けるのだろうか。



放送大学 北海道学習センター

娘のような、孫みたいな学生と友達になる。

—北海道SCの愉快的仲間たち—

ヨッシーさん



日暮れかかった学習センターの学生控室で、何やら3人の学生が賑やかだ。皆、学友会のサークルメンバーで学生交流や学生生活の充実を目指した活動を行っている。その中の一人であるヨッシーさんは、放送大学に入学して早11年目。定年退職後の生活を考えていたときに放送大学の学習センターが北海道大学構内にあることを知った。「自宅が近所なので施設をフルに利用できるのが魅力だった。」と入学の動機を語る。在学当初は同世代とのつながりが中心だったが、いまでは若者の入学者も増えた。学友会がいま取り組んでいることは、コロナ禍の自粛生活の中で立ち上げた「メタバースキャン

パス」(バーチャル上で学生交流が可能)をもっと充実させること。創設当時は、シニア世代のみで何とか立ち上げたが、いまでは関連知識の乏しさを若者がカバーしてくれている。そして、男同士で「まあ、この程度で良いか」というところに、ミドル世代の女性が「ちょっと待って! どうせ作るならもう工夫」とご意見番の役を務める。このようにヤング、

ミドル、シニアの三世代が楽しくやり合う光景は、正に放送大学の良さを象徴している。

ヨッシーさんは、「孫みたいな若者との出会いはとにかく刺激的。付き合っていると自分自身がどんどん若返る。そして自分の可能性も広がってくれる。」と笑顔。対する若者のkumoriくんは、「以前は引きこもりがちで人と関わることなど考えられなかったが、放送大学での異世代との出会いが自身を少しずつ変えてくれているような気がする。」と語る。どちらかの世代が助けられているのではなく、助けたり助けられたり。そんな放送大学は最高の居場所と言えるそうだ。



メタバースキャンパス (一部分)

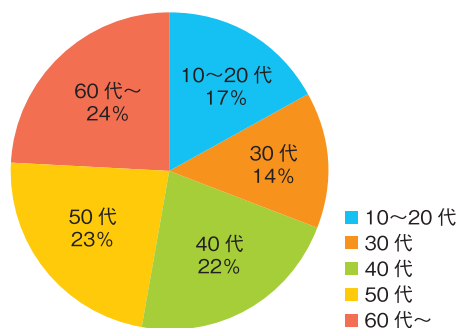


メタバースキャンパスで北海道内の学生さんとながっています。今後は全国の仲間と交流できるよう広がっていききたいねえ。

学生の年齢層や入学の目的も様々

北海道では、約 3,400 名の学生さんが放送大学で学ばれています。高校新卒の方、お仕事をされている方、定年退職された方など年齢層は幅広く、入学目的は、大学卒業のほか、興味のある科目だけを学ぶ生涯学習型、必要な科目だけを学ぶ資格取得型など、これもまた様々です。

北海道の学生割合（2024 年度第 2 学期）



家庭以外にも
「居場所」があることは、
夫婦円満の秘訣だね（笑）

北海道学習センター

(Hokkaido Study Center)

北海道学習センターは、北海道大学の構内にあります。季節によって目まぐるしく変わる風景や歴史ある建物を眺めながら、すれ違う若者達を目に、思わず二十歳に戻った気分で通学してください♪



北海道学習センターが所在する北海道大学情報教育館

「学習センター」はどんなところ？

学習センター（SC）は、全都道府県に設置されています。入学時にどこの SC に所属するかを選んでいただきます。北海道の方は、北海道 SC か旭川サテライトスペース（学習センターの役割をもつ施設）に所属されますが、転勤等の場合、在学中に変更することができます。

学習センターでは、主に次の利用が可能です。

- ①面接授業の受講（主に土・日曜日開講）
- ②視聴学習室・図書室の利用
（静かな環境で授業番組を視聴したり、印刷教材や図書の閲覧ができます。）
- ③客員教員との学習相談
- ④サークル活動などの学生交流
- ⑤講演会等の学習センター行事への参加
- ⑥学生証や証明書の発行等（諸手続）



「北海道学習センター」の前身「北海道ビデオ学習センター」があった建物。いまではここでワインが飲めたりします。



10月下旬から11月初旬は北大イチョウ並木が見頃です。

奥さんの後を追って入学？

一人と出会いながら学びを続けられるのが楽しいー

グッさん

グッさんは、中学校の教師だった。退職を機に「何か新しいことを始めたい」と考えていたときに、奥さんが放送大学で楽しそうにしている姿を見て、後追いのかたちになった。放送大学の良いところは、独りで学ぶだけでなく対面の授業（面接授業）がたくさんあること。北海道の面接授業であっても、地域色豊かな科目であれば道外からたくさんの学生が参加される。北海道酪農の未来を学ぶ授業では、北海道大学の農場で牛に直接触れたり、搾りたての味わいそのままの牛乳を試飲したり、道外の学生とも楽しく交流、全国にたくさんの仲間がいることを実感し、とても力強く感じたようだ。



北海道大学水産学部（函館）で行われた面接授業にご夫婦で参加



面接授業は
教員にも
大人気です

学生に人気の高い面接授業ですが、実は担当教員から「教える楽しさを知りました」と言われるほど好評です。教員の多くは道内の大学に本務先がありますが「うちの学生とは違うな（笑）」と放大学生の熱心さ、目の輝きに驚かれます。

北海道学習センターには語学系のサークルをはじめ、北海道の歴史を学ぶ会や源氏物語を学ぶ会、またはパソコンの利用・技術を習得する会や健康サークルなど11のサークルが熱心に活動されています。自ら仲間を募って新規に団体を立ち上げることも可能です。



奥さんは所属するフランス語サークルの入会を手作りのポスターでアピール



ハロウィン姿で行われた英語サークルの例会（手前左側がグッさん）

楽しい
サークル
活動



北海道SCのムードメーカー

—紅白まんじゅうと赤飯のお祝いから生まれた同窓会長—

エミさん

北海道学習センターのムードメーカーとして長く君臨するエミさんは、同窓会長ながら在学25年目を迎える。サークル「うたの会」の代表でもあるエミさんが学習センターにやって来ると辺りが急に賑やかになり明るくなる。また、一般向け行事を催す際は、手作りポスターを持って市内の公民館を駆け巡るなど行動派でもある。

エミさんは、若い頃に大学通信教育で学んだ経験があり、放送大学が創設されたことは何気んに耳に入っていた。放送大学であればスクーリングで遠方に出かけることなく卒業を目指せそうだと一念発起して入学を決意した。

初めての卒業を果たすまでは仕事に従事していたので試験の時しか学習センターに行くことはなかった。知り合った学友もいない孤独な学生だったが、同窓会主催の「卒業を祝う会」を偶



放送大学で学ぶこと、卒業することを誇らしく思ってもらいたいよ

然に覗いたときに先輩たちが温かく紅白まんじゅうと赤飯でお祝いしてくれたり、他の卒業生から苦労話や喜びの声を聴いたときに、私にも仲間がいるんだ、独りじゃないんだと実感、再度入学し、今度はお祝いしてあげられる側になろうと同窓会スタッフに加わった。



学外では仲間とともに海岸の清掃ボランティアなどにも精力的に動くエミさんであるが、「いまは裏方に回って汗を流す人が少なくなった」と漏らす。同窓会や学友会など、皆のために自ら動きたいという方を求めている。「助けてほしいの（笑）」とエミさんは最後にニッコリ♪



「うたの会」は、入学者の集いや文化祭などで合唱を披露しています。オリジナルの曲目では「北の大地に育まれた我ら放大学生♪」と高らかに歌います。



卒業を祝う会で合唱を披露する「うたの会」
(後列左側がエミさん)

旭川サテライトスペースでは4サークルが活動しています。面接授業時に時々行う学友会カフェでは屋上にタープテントを立て、楽しく過ごしています。



屋上から見える旭川のシンボル「旭橋」は絶好のビューポイントです。

これが私の心身健康法

—大病に負けず、小さな学びからコツコツと15年—

タミさん

タミさんは東京の出身。大都会のOL生活を辞め、なんと北海道・十勝の農家（池田町）に嫁いだ。暮らしぶりがガラリと変わり、しばらくの間は大変だった。子育てや義父母の介護などを終え、ようやく落ち着き始めた頃、今度は自分が大病を患った。独り落ち込んでいた時に地元の図書館で放送大学のパンフレットを見かけたのが入学のきっかけだ。「癌になったことで気持ちが負けてしまわないよう、何かに集中できるものを見つけたかった。」とタミさん。1科目ずつ小さな学びから始めたことで机に向かうのが楽しみとなり、長く続けられた。おかげで病気も快方へと向かった。

いまでは在学15年目。放送大学は一度卒業してもまた入学できる。自分が学びたいものを



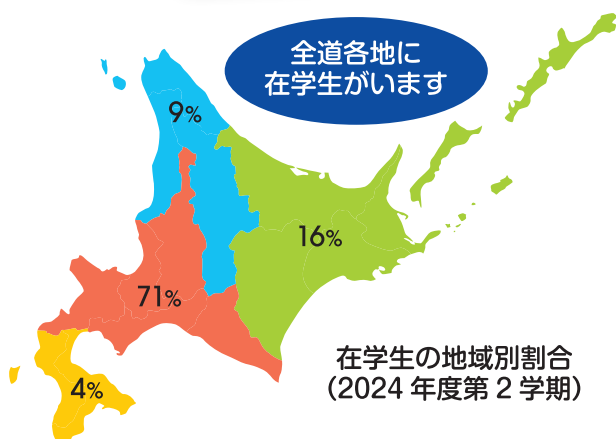
希少性の高い「つくねいも」栽培（背景）に取り組むタミさんは、まもなく3コース目修了を迎える。

選んで勉強できるのでストレスにならないし、本人曰くボケ防止にもなる。農業の繁忙期以外は札幌の面接授業に出かける。作物栽培に関する面接授業では大学の先生と授業の終わりに意見交換「そんな考え方もあるのだ」と自分の視野も広がった。また、地元では「帯広学友会」に所属し、仲間から刺激を受ける機会も多い。「学習センターから離れているからといって不自由は感じない。インターネット主体の学習には支障ないし、学習センターから配信されるオンライン講演会の機会も有難い。」とタミさん。畑仕事で汗をかきながら、忙しくも楽しい日々を過ごしている。

面接授業時、山田所長主催のCAFEで珈琲をいただいた後に記念撮影♪



全道各地に
在学生がいます



在学生の地域別割合
(2024年度第2学期)

小さな学び、

小さい努力

から始められます。

放送大学は、学士の学位が取得できる正規の大学ですが、1科目から始めたり、興味のある科目だけを学んだり、若い頃に学んだ分野の学び直しもできます。人文科学・社会科学・自然科学の幅広い分野を学べますが、科目の選び方が分からない場合は体系化された科目群の履修モデルがあります。自分に合った学びを見つけてください。

コツコツ

取りも取ったり、800単位

—お父さんの遺志を継いで—

メグさん

メグさんが放送大学に入学したのはお父さんの影響だった。お父さんは北海道に放送大学のビデオ学習センターが開設された1990年当初から在学していた。北海道で初めて学友会組織を作ったのもお父さんだった。そんなお父さんからの勧めがあって、メグさんは1992年に入学した。メグさんは、お父さんと競いながら順調に単位修得を続けたものの、当時の北海道では科目履修のみが可能で大学卒業を目指す「全科履修生」の受入れが進まず、卒業するためにわざわざ千葉の学習センターに所属を移したこともある。

いま、在学32年目を迎えるメグさんは、通算の修得単位数が何と800単位に及ぶ。全国の在学学生の中でもトップ10に入る勢いだ。この間、放送大学の全コース修了者に付与される「名誉学生」の称号も取得した。メグさんは現在、選科履修生として学びを続けているが、お父さんの遺志を継いで学友会活動にも精力的だ。今年は文化祭の実行委員長



「まずはお試し」

から始められます。

放送大学は、半年間か1年間だけの在学が可能です。自分に合うと分かれば在学を継続できます。

- ①学期（半年間）ごとに学ぶ科目を登録
 - ②登録した分の学費を納入
 - ③学習開始（放送授業・面接授業等）
 - ④学期末試験にチャレンジ（放送授業）
（100点満点中60点以上で合格）
- 学期ごとに①～④を繰り返します。



学習センターの隣にある北大の図書館を利用できるのもお薦めポイントですよ。

を務め、学生交流に一役を買った。

メグさんはまだ60代、単位修得は「担当教員との一つの戦いだ!」と物申すメグさん。これまで800余りの真剣勝負に勝ち続けている優秀なお侍さんは、この先いくつの勝利を重ねるのだろうか。

学費（入学料と授業料）

学生の種類
在学できる期間
入学料

全科履修生
最大10年間
2万4千円

選科履修生
1年間
9千円

科目履修生
半年間
7千円

授業料は1単位当たり6千円

放送授業/1科目（2単位）の場合：12,000円
面接授業/1科目（1単位）の場合：6,000円
科目登録した合計単位数分の授業料がかかります。
※大学卒業を目指す場合は、所定の124単位（編入学は62単位）の修得が必要です。

所長挨拶

放送大学には、多様な世代が集い、共に学んでいます。近年は若年層が増え、ヤング、ミドル、シニアの各世代がバランスよく在籍しています。ミドル、シニア世代には長年通い続けるリピーターもあり、こうした方々にとって、放送大学での学びは日々の暮らしの一部となっています。

若い世代が増える中で、学習センターでは世代間交流も徐々に広がっています。日本社会では、シニアが若者を教えるという固定的な主従関係が当然のように受け入れられています。しかし、あるベテランのシニア学生によれば、孫世代の学生をサークルに誘ったところ、教えるつもりが逆に若い学生から教えられるという思いがけない体験に恵まれたそうです。すれ違いがちな世代間の「出会いそこね」が真の出会いへと変わる場、それが学習センターです。ぜひ皆さんも一度、この新しい出会いの場を訪れてみませんか。

放送大学北海道学習センター所長

山田 義裕



学生交流イベント「let's be friends デー」の一コマ（山田所長は前列右側から3人目）

「何もなく生きるよりは目標を持って前に進みたい」

このパンフレットを作成するに至ったのは、定年退職を機に入学された旭川市在住の学生さんから寄せられた言葉が発端です。同世代の方々の勇気につながれば幸いです。内容が限定されていますので、放送大学の詳細はホームページや各種パンフレットをご覧ください。

放送大学
HP

各種パンフ
レット



放送大学

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hokkaido/>

【発行】放送大学北海道学習センター

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目（北海道大学構内）

TEL : 011-736-6318

2025年2月発行

放送大学旭川サテライトスペース

〒070-0044 旭川市常盤公園（旭川市常盤館内）

TEL : 0166-22-2627

北海道学習
センター
HP

